



# [ 週報 ]

Weekly Report

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**  
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

RI テーマ  
人類に奉仕するロータリー

2016 - 2017 年度 国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

例会日 / 毎週月曜日 12:30~13:30

例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内

創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)

会長 / 漆島典和 幹事 / 坂本研一 クラブ広報委員長 / 井上雅文

[www.kumamoto-southrc.org](http://www.kumamoto-southrc.org)

## 第39回例会記録(通算第 2729 回)

平成 29(2017)年6月12日

斉唱 国家 君が代

ロータリーソング「それでこそロータリー」

### 来訪者紹介

福井一基様(熊本日日新聞社)



斉藤 淳君・平木俊孝君の入会を歓迎します。楽しいロータリーライフを！

### 今日の例会

- 1.今日の歌
- 2.来訪者紹介
- 3.会長・幹事報告
- 4.常任委員長退任挨拶

### 今月・来月の行事

- 6/24-25 第 32 回地区 RA 研修会  
@ホテルアーク熊本城前
- 6/24 年度終了懇親会並びに次年度引き継ぎ式@オアシスタワーホテル
- 7/8 広報・青少年奉仕部門合同セミナー@アスパル富合
- 7/29-30 RI 第 2720 地区 第 33 回 IAC 年次大会@東九州龍谷高等学校

### 会長報告 (漆島典和君)

皆さま、こんにちは。早いもので本年度例会も今日を含め残すところ3回となりました。本年度最後の卓話者は、熊本日日新聞社 福井一基様です。楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず本日はうれしいご報告からです。SMBC 日興証券株式会社熊本支店長 斉藤 淳様、株式会社 AD858専務取締役平木俊孝様が入会されました。後ほどご紹介とご挨拶がございます。よろしくお願ひいたします。

さて、皆さまは日本が伝承上の最古の国家だということをご存知ですか? 「ザ・ワールド・ファクトブック」の INDEPENDENCE の項目において、神武天皇に基づく紀元前 660 年が日本の伝承的建国日として記載されています。中国が約 310 年、イギリスは 1066 年ノルマンディー公のギョーム (ウィリアム) がグレートブリテン島に攻め込み、そのまま王様となった「ノルマン朝」、これがイギリス王室 (イングランド王室) の始まりですので約 950 年、日本は 2677 年の歴史があり、現天皇陛下が 125 代となります。また、エチオピア王室は同じく「ザ・ワールド・ファクトブ

ック」の INDEPENDENCE の項目で、その歴史は少なくとも 2000 年前のアクスム王国にまで遡れるだろうとし、世界最古の独立国家の一つとしていますが、王室は現存していません。

### 例会変更のお知らせ

○05福祉 RC~親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月20日(火)12:30~

[変更後] 6月20日(火)18:00~

[場 所] 火の国ハイツ

○東南 RC~親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月21日(水)12:30~

[変更後] 6月21日(水)18:30~

[場 所] 日本料理 おく村

○水前寺公園 RC~親睦会のため時間場所変更

[変更前] 6月21日(水)12:30~

[変更後] 6月21日(水)18:30~

[場 所] 未定

○りんどう RC～親睦会のため日程場所変更

[変更前] 6月22日(木)19:00～

[変更後] 6月25日(日)12:00～

[場 所] キャッスル

○城東 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月26日(月)12:30～

○西稜 RC～親睦会のため場所変更

[日 程] 6月26日(月)18:30～

[場 所] 日航熊本

○05福祉 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月27日(火)12:30～

○江南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月28日(水)12:30～

○水前寺公園 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月28日(水)18:30～

○西南 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月29日(木)12:30～

○りんどう RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月29日(木)13:00～

○中央 RC～定款に基づき休会

[日 程] 6月30日(金)12:30～

### 幹事報告 (坂本研一君)

1. 例会終了後「定例理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をよろしくお願いいたします。
2. 例会・定例理事会終了後「次年度臨時理事会」を開催いたします。関係各位はご参加をよろしくお願いいたします。

### 定例理事会報告 (漆島典和君)

1. 近森栄太郎様・吉本裕名様の入会について  
⇒承認されました。
2. 出席率100%表彰について  
⇒ホーム例会100%出席者、メーキャップ100%出席者を表彰することが承認されました。
3. メーキャップ充当の対象について  
⇒「全会員案内」の行事を対象(出席者のみ)とすることが承認されました。次年度(2017/7/1)より

### 2017-18(次年度)臨時理事会報告 (今村浩昭君)

1. 2017-18年度 委員会について  
⇒承認されました。
2. 2017-18年度 年間行事計画について  
⇒承認されました。
3. 2017-18年度 予算について  
⇒承認されました。

出席報告 (木村仁治君)			
会員数	出席数	出席率	前々回 修正出席率
63名	37名	63.79%	89.66%
出席規定適用免除者 4名			欠席記録免除者 2名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

### 新入会員自己紹介 1回目



氏名：齊藤 淳君  
(さいとう じゅん)  
生年月日：昭和45年12月22日  
勤務先：SMBC 日興証券株式会社  
熊本支店  
推薦者：久峨章義君・漆島典和君



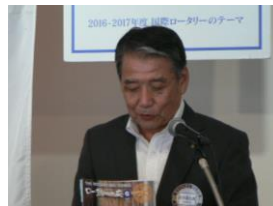
氏名：平木俊孝君  
(ひらき としたか)  
生年月日：昭和29年8月24日  
勤務先：株式会社 AD858  
推薦者：久峨章義君・今村浩昭君

### 2017-18(次年度)姉妹クラブ委員会報告 (馬場大介君)

皆さま、こんにちは。次年度 短期青少年交換事業につきまして、ホストファミリーが決定いたしましたのでご報告申し上げます。お引き受けいただきました皆さま、ご協力ありがとうございます。よろしくお願いたします。また本日、次年度姉妹クラブ委員会 IM を開催いたしますので、関係各位にはご参加をよろしくお願いいたします。

### 委員会報告

#### ●雑誌委員会 (永井富士雄君)



6月は親睦活動月間となっています。横書き P.3 をご覧ください。ロータリー年度も終わりに近づき、RI 会長夫妻が、この2年間の思いと、今年度 RI テーマである「人類に奉仕するロータリー」として行動してきたメッセージが記載されています。また、P.34～35 にジャーム会長の一年を振り返る写真集が掲載されていますので、併せてご覧ください。次に P.7 をご覧ください。P.7～15 にかけて、特集「国境越えアジアの人々のために」が掲載されています。11 地区より投稿されていますが、①支援先としては、タイ・カンボジア・フィリピン・インドネシアなどで、②支援内容は、図書館建設や

図書、貯水施設に手洗い場、トイレ建設にソーラーパネルなど、そのほかリサイクルの古着・靴・自転車などとなっています。③支援体制では、クラブの周年事業や姉妹クラブとの事業連携、支援先 RC との共同事業、NPO 法人を通じての支援活動などとなっています。各クラブとも活動したことによる喜びと感動を享受し、国際奉仕への意識が高揚に繋がっている、と報告されています。第 2720 地区からは、P. 14 の下に宇佐八幡 RC から図書寄贈の内容が投稿されています。P. 16～24 では、ロータリー財団 100 周年を祝うということで、これまでの記事と同様に、各地の活動状況が掲載されていますので、ご一読ください。P. 26～27 の End Polio Now では、各地で開催されたポリオ撲滅募金活動の記事となっています。P.28～29 は、5月号に引き続き、日本で初めて開催されたロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)のセミナーレポートとして、厳しかったセミナーの内容が取り纏めてあります。P. 30～31 では、伊勢南 RC の創立 50 周年記念事業として、「一生心に残る一瞬を届けたい」との思いから、名古屋フィルハーモニー交響楽団のチャリティーコンサートを開催し、併せて中学生を指導し、共演するというプロジェクトも計画されました。関係者や関係機関・報道も巻き込み大盛況で、感動する記念事業が出来たと紹介されています。P. 39 よねやまだより下枠に「感謝 in 熊本」開催案内が記載されています。これは、米山記念奨学会 財団設立 50 周年記念として開催されます。(日時:8月26日(土)午後4時、場所:熊本ニュースカイ)P. 42 の地区大会略報では、左下に第 2720 地区の内容が報告されています。続いて縦書きに移ります。P. 22～34 にかけてロータリーアットワークの紹介があります。第 2720 地区からは P. 23 の上から 2 段目に大分中央 RC の犯罪被害者をクラブで支援という記事があります。また、P. 34 に佐伯 RC からののちの電話を支援しコンサートを開催という記事があります。以上、6月号の報告を終わります。ご一読をお願いします。最後に、雑誌委員長として「ロータリーの友」への投稿をよろしくお願い申し上げます。また向臺行雄副委員長には大変ご協力を頂きありがとうございました。感謝申し上げますとともに、次年度委員長としてバトンを渡し、私の任務を納めさせて頂きます。一年間ありがとうございました。

### ●スマイルボックス(西川尚希君)

○漆島典和君・淵田俊郎君・坂本研一君・今村浩昭君

古財良一君・北口 誠君

新入会員の平木俊孝さん・斉藤 淳さんを心より歓迎いたします。ロータリーライフを楽しんでください。また、本日の卓話者 福井一基様を心より歓迎いたします。

○久峨章義君・吉本栄一君・木村弘訓君・永井富士雄君

堀川貴史君・杉光定則君・原 裕一君・星野誠之君

本日から入会されます、平木俊孝さん・斉藤 淳さんを心より歓迎いたします。誠にありがとうございます。

○後藤 博君

先週は年祝いの会を開いていただき、ありがとうございました。60を迎えて生まれ変わり、新たな気持ちと身体で活躍していきたいと思っております。新入会員の平木俊孝様・斉藤 淳様の入会を歓迎いたします。

○山口 競君 II

先日6/5は年祝い親睦会にたくさんの会員の皆さまに来ていただき、本当にありがとうございました。色々行き届かないことも多々あると思いますが、これからもよろしくお願いたします。

○西川尚希君

先日の年祝いには出席できずすみません。告坂和紀会員からすごく楽しかったと聞き、残念でなりません。本日、記念品をいただきました。ありがとうございました。感謝のスマイルです。

○河津延雄君

先週の年祝い祈願祭と親睦会は出張のため欠席しました。年祝いの方、おめでとうございました。

○古財良一君

今朝、北口 誠会員よりオハイエくまもとへの募金をいただきました。社員の方々から少しずつ集められた大切な募金です。オハイエくまもとの活動に大切にに使わせていただきます。

○星野誠之君 II

昨日、菊池地区JAの野球大会があり、三男 ハルキが9番ライトで出場しました。試合は惜しくも準優勝でしたが、ハルキは高々と上がったフライを2本取りました。まだ小学2年生ですが、お兄ちゃんたちを超えたとわれ、親としてはうれしような悲しいような、複雑です。2本取りましたので2本スマイルします。

### ●会員卓話(古財良一君)

#### 「熊本地震と取材の現場」

福井一基様(熊本日日新聞社)



熊本地震から1年と2カ月がたとうとしています。震度7の地震が2回も発生し、県民の10%以上が避難したとされる大災害でしたが、表面的には日常を取り戻しているかのようでもあります。しかし、ひとたび被災地に入ると更地が広がり、応急仮設住宅が軒を連ねるなど、仮住まいを余儀なくされている方は3月末時点で4万8千人にも上っています。復興はまさにこれからです。この機会に改めて被災地、被災者の現状と教訓についてみなさんと考えることができればと思っています。まず熊本地震の特徴は何と言っても震度7が28時間以内という短期間に2回連続で起きたことです。

震度というのは0から7までの10段階です。気象庁によると、震度7とは「立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。」揺れであるとされていますが、益城町や西原村で聞く揺れの大きさは、感覚的には震度8や9という尺度でないと表現できない揺れだったのではないかという印象を持っています。もう一つの特徴は余震の多さです。発生から15日間の余震回数は阪神・淡路、新潟県中越地震と比べると突出しています。今年3月末時点では約4300回に上っていますが、この余震の多さが当初、避難生活の長期化、救助活動の支障につながった面がありました。最大の避難者数は18万4千人と県人口の10.3%に当たっています。ただ、実際は車中泊やテント泊、軒先避難などがかなりあり、被災者の実態がつかみづらかったというのも今回の地震の特徴でした。人的被害は直接死50人、関連死172人の計227人。入院患者が地震で転院するなどした結果、容体悪化を招き、死亡に至るなど、震災関連死が多いのも今回の特徴の一つでしょう。地震の規模の割に、阪神大震災や東日本大震災と比べて人的被害が少なかった要因の一つに、発生が活動時間帯ではなかったこと、そして火災が比較的少なかったことが指摘されています。阪神大震災時の地震火災は293件、東日本大震災時も津波を起因とするものを除いても239件発生していますが、熊本地震では16件にとどまりました。停電後の慎重な通電作業やガス導管の耐震強化などが有効だったという指摘もあります。阪神大震災では電力が復旧した際に、電源が入ったまま倒れていた電気ストーブなどから出火する「通電火災」が、原因が特定された火災の6割を占め、大きな問題となりました。九州電力は今回、電柱と家屋をつなぐ引き込み線を切断した上で電力復旧を進め、通電火災をゼロに押さえ込みました。ガスも、耐震性が高くガス漏れしにくいポリエチレン管の普及で、ガス導管の被害が少なかったと言われております。これからは私が取材を通して考えたことを述べさせていただきます。当初、報道は益城町や南阿蘇村の被害に集中した面がありましたが、私が重点的に取材に入った西原村の被害も相当なものでした。死者は災害関連死を含めて8人と全体の割合からすると小さいものの、住家被害は半壊以上が村全体の56%に当たる1378件と大変な数に上っています。そんな中、西原村では被害が大きかった地区を中心に集団移転の話が持ち上がりました。集団移転とは文字通り、被災した土地の住民が一定の規模でまとまって移ることで、移転にあたっては公的補助もあります。発生直後は余震の恐怖もあり、多くの住民が集団移転に傾きましたが、実際に住民の取材を進めると、簡単に割り切れるものではないことが分かってきます。現実的には、新たな土地を確保するための経済的負担をどうするかという問題が大きいのですが、先祖代々住んできた共同体としての集落をどうするかという葛藤も非常に大きかったと思います。特に、西原村のようなどころでは、住民がそれぞれ公役を担って集落が維持

されていますが、世帯数が減ればそれだけ集落の維持は困難になります。移転すれば、今までの隣近所の関係性はリセットされ、新たに人間関係をつくる苦勞もあります。残るにしても周りが移転すれば、先述したように共同体が維持できるのか不安が残ります。そんな経緯を実際にたどったのが、新潟県中越地震で被災した旧川口町や旧山古志村です。被災から12年を迎える現地を訪ねましたが、移転した人、残った人それぞれが複雑な心境を今も抱いていました。移転集落ではハウスメーカーによる現代的な住宅が整然と並び、以前より市街地に近くなるなど利便性は高まっているはずですが、必ずしも住民の心の豊かさにつながるものではありませんでした。玄関を施錠することもなく、互いの家を行き来し、縁側で茶飲み話をした以前と比べると、窓を開ければすぐ隣に家があり、隣近所に遠慮して暮らさなければならない生活に息苦しさすら覚えているようでした。安全や利便性と引き換えに失ったものもあったのでしょうか。また、12年たった今でも、人間関係の微妙な変化や、移転時の感情のもつれが残り、わだかまりを抱えている方はいまだに多くいました。そんな微妙な人々の気持ちに思いを馳せなければ、西原村の記事は書けないということを強く思った取材でもありました。そして、西原村ですが、現在は集団移転よりも地元に残って集落をどう再生するかという議論に移り変わっています。一連の取材で感じたことですが、地震からの復興は結局のところ、住民一人一人の心情を無視しては語れないということです。「被災者に寄り添う」という言葉をよく聞きますが、被災者の立場になって考えなければ、私たち記者は読者に本当のことを伝えることができないと思っています。地震から1年以上がたちましたが、被災者にとってはこれからが正念場です。例えば、借り上げ型のみなし仮設の場合、見守り支援の手が届きにくい現実があり、孤独死とみられる事案も散見されるようになりました。もともと人付き合いが少なかったり、元いたコミュニティを離れ、人間関係が希薄になった人もいるでしょう。そんな人たちをどう支援するのか、模索が続いています。また、仮設住宅の入居は原則2年です。実際は延長して住めるようになるとは思いますが、一応の期間が区切られる中、仮設退去後の生活をどうするのか、見通しが立っていない方は大勢います。東日本大震災からは既に6年がたちましたが、東北ではいまだに仮設住宅を出られない被災者がいます。そして、被災者が恐れているのは風化です。東北でも多くの被災者が口をそろえたのは、自分たちの存在を「忘れないでほしい」という思いでした。世間から取り残されるのではないかという不安を多くの方が抱えていました。私たち熊本県民も、多くは日常を取り戻したでしょうが、地震からの復興を熊本が抱える課題として県民みんなで共有し、折に触れて考えるべきだと思っています。そのきっかけを提供するのが私たち記者の使命であるとも思っております。